

魚沼の秘境・好天の平ヶ岳(2141m)

日 時：10月1日(土)～2日(日)

参加団体、参加数:9団体、26名

(柏崎山岳会、長岡山岳会、下越山岳会、新潟山岳会、新潟楽山会、
新潟ランタン会、工友会、一峰会、越後支部)

10/1(土) 银山平 伝之助小屋:会員相互の親睦・融和・情報交流会

10/2(日) 伝之助小屋～中ノ岐林道～平ヶ岳(往復)

平ヶ岳は、尾瀬ヶ原の北方、群馬県と新潟県の境にそびえる日本百名山、山頂部が平坦で
広大な湿原が広がっているのが特徴、湿原は草紅葉で色付き、周囲の山肌が紅葉真っ盛りの
絶景を楽しむことができました。今回は小屋で一泊し会員相互の情報交流・親睦・融和を図るこ
うことができました。

10/1(土)・・新潟県山岳協会副会長、遠藤俊一氏からこの度の山行に大勢の方が参加された
ことに対する感謝の挨拶があり、その後、各団体から会の状況や活動について、また、最近、
登った山々についての報告や感想などを交え自己紹介を行った。夕食交流会ではほとんど
の方が初対面で各団体との交流・親睦・融和を図ることができました。



银山平 伝之助小屋前

10/2(日)・・3時起床、薄暗い中、3時50分マイクロバスで中ノ岐林道登山口に向け出
発。中ノ岐林道からの登山は平成12年(22年前)以来、登山口までの林道は一部舗装され、
登山口には駐車スペース、タープが張られた休憩場所、仮設トイレ、靴の洗い場が設けられ
たことにビックリした。朝食中には2台のマイクロバスが到着し人気のある山であることを
再認識した。もはや秘境ではなくなったか。登山口到着後、朝焼けの中、朝食、今回は総
勢26名、3班に分け5時40分出発とした。平ヶ岳沢を渡るとヒカリゴケの群生地への案
内板がある。ここからが急斜面の登りとなり、五葉松、クロベの大木を過ぎると背後に三角

形の荒沢岳、でっかい越後駒ヶ岳、中ノ岳を見ることができた。2回ほどの休憩をとり、3グループとも予定時間に玉子石分岐に到着、景色は一変し山名のとおり穏やかな平頂を盛り上げている平ヶ岳の山頂を見ることができた。木道もしっかり整備され、歩きやすく、草紅葉と木々の黄葉を楽しみながら、誰かがこの景色に興奮気味に大声で話している。今日は最高の登山日和である。他のグループもこの綺麗な景色に感激のようでどこからかと聞くと大阪、宮城から来たとのこと。標高 2000m の尾根上からは草紅葉の中、木道と登山道がレールを敷いたように山頂が招いているようである。正面に尾瀬の燧ヶ岳が迫って来ると山頂は近くなり、平ヶ岳三角点に予定よりも早く着くことができた。ここにザックを残置し山頂へ。景鶴山や日光の山々など360度の大展望を楽しみ下山開始。下山は姫ノ池、玉子石を経由し予定時間の12時30分に全員怪我もなく登山口に到着することができた。



正面は平ヶ岳山頂



平ヶ岳三角点休憩地にて



今日は最高 バンザイ



玉子石と池塘



奇麗な紅葉



姫ノ池から山頂を望む

記 渡辺 茂